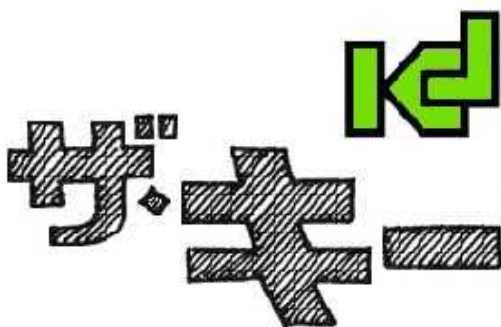




J A R L クラブ登録番号 10-4-68 ↓ replace [(a)] with [@]
 発行 JR3KQJ 中島 昌己 (jr3kqj(a)jarl.com)
 編集 JH3HGI 吉村 豊樹 (thekey(a)kcj-cw.com)
 印刷 JA1PHE 大屋 宣昭
 レポート管理 JA20LJ 岩川 吉伸 (kcj-rpt(a)kcj-cw.com)
 会報発送管理 JH3EZV 勝本 健
 会員部 JM1PWW 工藤 博昭 (kcj-mem2(a)kcj-cw.com)
 会計 JA1COP 佐々木広武
 郵便振替口座 00860-1-13444 名義：全国CW同好会
 KCJ ホームページ <http://www.kcj-cw.com>

【カラー版のダウンロード】

KCJ ウェブサイトの日本語ページ (http://www.kcj-cw.com/j_index.htm) から この会報のカラー版をダウンロード出来ます。(8月24日の夜以降、PDF ファイルです)

【ハムフェア、今年も出展】

KCJでは「ハムフェア」に2005年からブースを出展してきました。今年も抜群の位置のブースを確保できました。

今年もCWの面白さ、KCJのPRをしたいと考えています。どうぞごゆっくりご覧ください。

【KCJ コンテストへのご参加、ありがとうございました】

去る8月17日～18日の「第34回 KCJ コンテスト」には今年も多くの方に参加していただきました。ありがとうございました。

ご存知だとは思いますが、改めて以下のお願いをします。

KCJ 主催のコンテストでは、ご提出いただいたログを全てデジタルデータ化して、専用ソフトで相互チェックをします。その結果、互いのデータが一致した交信について点数を計上します。

したがって、コンテスト中、1局でもナンバー交換をされましたら、ログのご提出をお願いします。チェックログとしていただいても結構です。

ログ提出期限は【2013年9月18日(消印有効)】です。 よろしくお願ひします。

【about KCJA】

KCJが発行しているアワード『KCJA』の情報です。現在の最高ポイントは650ポイントです。650ポイントのNo.1はJA1BML 山田さん(故人)、No.2はJR3KQJ 中島さんです。

J03NTB (非会員) 13-7-20 100pts (No. 346)										JA5CUX (会員) 13-6-4 600pts (No. 004)									
新規申請										追加申請									
Band	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	Band	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28
Pts	0	40	40	13	1	0	4	0	0	Pts	46	47	47	47	47	47	47	47	47
Band	50	144	430	1.2	2.4	5.6	24	SAT	SUM	Band	50	144	430	1.2	2.4	5.6	24	SAT	SUM
Pts	5	5	0	0	0	0	0	0	108	Pts	45	35	29	21	1	1	1	46	601

KCJA 賞発行規約・Millennium Edition

日本の1都道府県とのモールス符号を使用する電信による交信を1点とし、下記の規定の点数を得ることにより発行される。ただし1バンドにおいては、1都道府県との交信は1回に限るものとする。

100点・・・KCJA Class100 (さらに上位賞を下記単位で設定しステッカーを発行する)

100～400点まで・・・50点増加毎

400～600点まで・・・25点増加毎

600点以上・・・10点増加毎

(詳細はKCJウェブサイトの「アワードページ」をご参照ください)

Members activity report (2013 July)

今月の一言

BY JA2OLJ/QRPP

今年の梅雨は「男性型」で 降るときはしっかりと降り その間は35度超の猛暑で 雨を待つ農家には厳しい年かも？
 移動病の触手も暑さに負けて、現在のところ予定は未定。レポートも10局よりいただき やや少なめ。この秋サイクル24の
 ピークとなるそうな！DXに興味ある局は頑張ってください。その分のレポートも大いに期待しています。
 今月 JA1KI OM KCJA に初登場です。AJA/WAZ/DXCCも 期待しています。

KCJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JR3KQJ	656	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	44	33	11	5	47	0	1305
JA1KI	597	47	47	47	47	47	47	47	47	47	46	24	16	12	11	18	47	597	New
JA2MYA	590	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	41	27	7	0	0	45	0	1305
JA2OLJ	571	47	47	47	47	47	47	47	47	46	47	33	34	9	0	0	26	1	1305
JJ1INO	423	47	47	47	47	47	44	46	40	34	24	0	0	0	0	0	0	0	1305
JA7TJ	423	46	47	47	47	47	46	47	45	47	0	2	2	0	0	0	0	0	1305
JO3OMA	402	38	47	47	44	28	44	33	24	31	47	11	8	0	0	0	0	3	1305

AJA	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JR3KQJ	18203	1606	1611	1616	1622	1610	1604	1605	1577	1531	1125	598	447	193	43	20	1395	0	1305
JA8AJE	12899	1010	1451	1561	1590	1495	1266	1310	1048	1083	1060	21	4	0	0	0	0	5	1305
JA2MYA	11734	1474	1589	1614	1586	1242	954	821	582	545	550	383	117	20	0	0	257	0	1305
JA2OLJ	9793	1309	1484	1538	1478	756	725	680	386	375	567	260	148	23	0	0	64	38	1305
JJ1INO	5988	390	870	1502	1559	548	361	317	179	174	88	0	0	0	0	0	0	0	1305
JO3OMA	3056	126	576	936	300	91	207	124	69	116	481	20	10	0	0	0	0	11	1305

WAZ	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JA2OLJ	380	27	40	40	40	40	40	40	40	40	17	1	1	1	0	0	13	0	1305

DXCC	Total	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1.2	2.4	SHF	SAT	UP	前回
JA2OLJ	2399	94	180	307	264	321	302	301	295	262	42	1	1	1	0	0	28	0	1305
JA2MYA	1554	8	109	167	174	284	200	242	177	177	13	0	0	0	0	0	3	4	1305
JQ1NGT	967	17	54	157	59	139	117	245	36	127	12	1	1	1	0	0	1	0	1305
JR3KQJ	794	26	58	96	86	134	81	111	64	88	15	0	0	0	0	0	35	0	1305
JO3OMA	221	0	5	59	6	32	27	47	14	25	6	0	0	0	0	0	0	1	1305

IOTA	Total	AF	AN	AS	EU	NA	OC	SA	-	-	-	UP	前回	JCA	CFM	WKD	UP	前回
JA8AJE	358	19	8	91	54	51	121	14	-	-	-	1	1301	JR3KQJ	7253		0	1305
														JA2OLJ	6485		6485	New
JCC	CFM	WKD	AUX	UP	前回	JCG	CFM	WKD	AUX	UP	前回	JA2MYA	6096			42	1305	
JA2MYA	883			0	1305	JA2MYA	579			0	1305	JO3OMA	2583	3043		0	1305	
JA2OLJ	882	882		0	1305	JR3KQJ	577			0	1305	JJ1INO	2351			278	906	
JJ1INO	877		QRp	0	1305	JR3KQJ	575	10MHz		0	1305	DXCC	CFM	WKD	UP	前回		
JA7TJ	861			1	1305	JJ1INO	574	QRp		0	1305	JA2OLJ	343	343		0	1305	
JR3KQJ	856			0	1305	JA7TJ	573			0	1305	JA2MYA	331			1	1305	
JR3KQJ	856		10MHz	0	1305	JA2OLJ	570	570		0	1305	JA7TJ	225			0	1305	
JO3OMA	688	698		2	1305	JO3OMA	301	313		0	1305	JR3KQJ	212			0	1305	
												JO3OMA	86	90		0	1302	

暦年ACT

	Total	13年×1.0	12年×0.75	11年×0.50	10年×0.25	UP	前回
JR3KQJ	1485	359	529	551	541	31	1305
JA8AJE	1139	334	377	385	385	99	1305
JA2MYA	994	271	348	312	379	57	1305
JA2OLJ	838	244	361	335	303	18	1305

全国CW同好会への入会について

KCJへの入会資格は、**個人局で、CW免許を保有していること**です。

(現在、最年少の会員は小学生の女の子です)

「KCJ入会申込書」に、ご自身のアマチュア無線活動歴や、アマチュア無線やCWについてのお考えと自己紹介をお書きください。入会申込書が届いたとき、会から若干の質問をさせていただくかもしれませんがご理解ください。

会員はハムである以前に、よき社会人であることを強調しています。入会して、何か特別な利益があるという会ではありません。どの会員もボランティア精神を基に、会の運営に協力することが前提とされています。

本会会員は、電波法規の遵守はもちろん、アマチュア無線のよき習慣を不文律として守ることをモットーにしています。また、会員になられたからは、会の主催するコンテストに参加されたときは、主催者側の一員として必ずログを提出することを心がけていただきます。

長い生涯のうちには、いろいろな事情で好きなアマチュア無線から遠ざからなくてはならないこともあるでしょう。そのようにアクティビティの落ちた時期にあってもアマチュア無線とCWには関心をもち続け、本会会員であることに意義を感じ引き続き在籍していただきたいと

思います。

そうした事柄すべてを含めてライフホビーというものだと私たちは考えており、このような考えにご賛同いただける方に入会していただけることを心から望んでいます。

入会申込方法

会員担当に、SASE(長型3号(A4三つ折り)の封筒に返信宛先を書いて90円切手を貼ったもの)を送って、入会申込書を取り寄せてください。入会申込書はE-mailでのご請求にも対応可能ですし、KCJ-Web(ホームページ)からダウンロードすることも可能です。

送付先: 〒174-0046 東京都 板橋区
蓮根 1-1-22-205

JM1PWW 工藤 博昭

(E-mail: kcj-mem2(a)kcj-cw.com)

次に、入会申込書に必要事項を記入してKCJ会長に提出してください。

エクセルデータ・手書きの郵送・PDF/TIF変換してメール送付でも構いません。

送付先: 〒668-0821 兵庫県 豊岡市
市場 602-1

JR3KQJ 中島 昌己

(E-mail: kcj-c(a)kcj-cw.com)

入会承認書が届いたら、所定の会費を納めて、貴局もKCJの一員となります。

【会員情報】

「新入会員」

※ JI3NOF 近藤訓之さん (ハンドル: KUNI、会員番号: #441、8月8日付)

長い間SSBばかりでしたが、最近CWのライセンスを取得されてアクティブです。国内を代表する名門クラブに入会したいとの思いで入会申し込みをされました。

※ JF6LIU 富樫 栄さん (ハンドル: SAKA、会員番号: #442、8月12日付)

今年7月の「関西アマチュア無線フェスティバル」(関ハム)のKCJブースを訪問されたのを機に入会されました。

「コンテストカレンダー」のウェブサイトを運営されていることで有名です。

【QTC!! 会員の皆さんへ(会費について)】 会計担当 JA1COP 佐々木広武

現在、会費の納入は隔年となっています。そして、今年2013年は会費の納入が不要の年です。今年の会費の納入は不要です。既に誤入金されている方がいらっしゃいますが、来年納めて頂く会費として受領しますのでご了解下さい。

【関ハム出展を終えて】

関ハム担当 J030MA 長井浩輔

今年も関西ハムフェスティバル 2013 にブースを出展しました。昨年に引き続き2回目の出展です。

昨年の経験と、展示に必要な物品を J03DIN 西谷さんのご厚意で1年間保管頂いたお陰で、今年は準備期間も短めで、当日の準備を除いて省エネ運転で事を進めました。また私の仕事が多忙を極めなかなかお役に立てなかったのですが、3 エリアメンバー各位をはじめ、皆様にお助け頂いたお陰で滞りなく準備が進みました。

今年もくじ運に恵まれ、人通りの多い2階メーカーブース前に陣取る事ができたのはとてもラッキーでしたが、主催者発表と裏腹にブース来訪者数は昨年より減ってしまいました。2年目のジンスカ、とも思ったのですが、昨年お目に掛かった QSO 常連局やお知り合いをあまり見かけなかったこともあり、実際の来場者数も昨年より少なかったのではと思います。

出展内容としては今回もエレキーやパドルの展示、またスライドショーも実施しました。今年は DSCW や USBIF4CW といった PC キーイングの質問がとても多かったのですが、中でも FTDX-3000 の購入をお考えの方が、私が対応しただけでも4名もいらっしゃいました。後から知ったのですが、RTTY だけでなく CW もデコードしてくれるそうで、CW に興味はあるけど受信ができない、という方の注目の一品のようですね。ちなみに私は高級機を買うお金はありませんので手打ちを卒業することはありませんが、こういったリグの登場で、少しでも CW の世界へ足を踏み入れる方が増えれば FB です。

また今回は娘（JP3ELL）も当番として参加させて頂き、多少なり客寄せパンダとして貢献できたのではないかと思います。未だに符号はあやふやですが、少しずつ CWer としての自覚が芽生えてきたようで、東京ディズニーランドよりハムフェアを選択する女の子になってしまいました。これもまた皆様のお陰です Hi

今年も暑い二日間でしたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。来年は PC キーイングや CW 聞き取り練習など、来訪者参加型の出展も考えたいと思います。3 エリアメンバーを中心として出展のお手伝い頂いた方々、ブース当番を担当頂いた方々、大変お世話になり本当にありがとうございました。



【会員からの投稿】

『大きな針穴写真機』

JJ1INO/QRPP 井上洋輔

高校生の頃、家が狭かったこともあり、隣の地主さんの家に寝泊りしていました。部屋は8畳の和室で東側に障子、廊下、ガラス戸、雨戸があり外は日本庭園になっていました。

朝、天気がよいと、障子にツルベ井戸、灯籠、紅葉の木など日本庭園の景色が逆さまに映し出されました。最初、これは何だと、ビックリしました。雨戸の節穴から入った光が廊下をわたり障子に投影され、正に大きな針穴写真機を構成していたわけです。

今の我が家には、廊下と障子の組合せは無く、金属製の雨戸には節穴も無く、雨戸の上には欄間があり朝日が入り込んで室内は明るく、針穴写真機を構成する要素が皆無で、なんとも情緒の無い状態です。

この時期、無線の方は、SWL JA1-2203として早朝日の出前からヨーロッパ方面をワッチしたり

してましたので、その時は針穴写真機の映像は見られませんでした。

72/73 Ino.

『遙かなる〔道の駅〕』

JR3XEX 伊達寿夫



2010年5月22日(土)午後3時、巨大な架け橋「明石海峡大橋」の淡路側直下の静かな波打ち際に私はいた。静かな海岸から糸を垂れる釣り人が数人。沖合にはおもちゃのような船の往来。下り坂に向かう天候で、対岸の明石市方面はもう霞んでいる。うろこをくねらせながら雲の中に潜り込んでいく巨龍を思わせる。ときたま「ガーン、ガーン」と不気味な轟音が天から降ってくるようだ。道の駅兵庫14番「あわじ」。ひとしおの感慨を持って立ち尽くしていた。

2008年

思えば、2008年5月18日(日)兵庫県豊岡市日



高町兵庫5番「神鍋高原」からスタートしたJR3XEX道の駅QRVラリー。居住する京都府はすでに完了したので、お隣の兵庫県を目指した。ご存知この県は近畿最大の面積を持ち、日本海から太平洋(瀬戸内海)淡路島を含み、道の駅は30ヶ所。JR3KQJを始めKCJメンバーも多い。当初、1日に2ヶ所を予定していたので、早々に蘇武トンネルを越えて美方郡香美町兵庫6番「村岡ファームガーデン」日本一の但馬牛焼肉のにおいいっぱいの「道の駅」だった。その後、一週間ごとに同一方面、兵庫20番「あゆの里矢田川」、兵庫13番「ハチ北」、朝来市兵庫3番「あさご」1エリアのOMのリクエストにお応えし



てのQRV。5月31日で春の移動は終了。なにせ車の中は暑い・・・日帰りに徹しているのでどうしても時間的に制限される。

10月4日(土)

秋の移動開始。兵庫29番の「ようか但馬蔵」。この時点で最新の道の駅。大きな駐車場にきれいな建物、

特筆すべきは「温泉の足湯」だ。

11月3日(祝)兵庫8番「但馬楽座」、11月9日(日)兵庫7番「やぶ」。

ここまで国道9号線沿線の各駅は、自宅から1時間程度なので気楽に来ることができる。

11月15日(土)抜けるような青空の秋の一日。朝来市兵庫28番「但馬のまほろば」。高速道路のサービスエリアにあるきらきらと輝くような建物。晩秋の観光客でいっぱいだった。大きな駐車場はなんの遠慮もなくQRVできる。北近畿豊岡道を一路、丹波市へ。兵庫12番「あおがき」。日もだいぶ傾き始めたが、行楽帰りの車でいっぱいの駐車場に場所探しが大変。帰りに走った直線道路のイチョウ並木が黄金色に輝き、真っ青な空に映え秋の終わりを告げていた。

2009年

2009年3月7日(土)この冬は雪も少なく、春らしくなってきたので移動開始。多可郡多可町、兵庫11番「R427かみ」。播州峠を南に越えると加古川の源流。V字に切れ込んだ道をひたすら下る。初めて走る道にナビが心強い。こんな山の中で電波は飛ぶのか?でも杞憂だった。HFはこうだから面白い。珍なのか呼ばれ続けた。レジのお嬢さんが美人なのは、仲間のJA3***から聞いていた。後日、携帯で「お嬢さんと握手してきた」と言ってやったら、焦っていた・・・

3月15日(日)朝来市兵庫18番「フレッシュあさご」、29日(日)丹波市兵庫27番「丹波おばあちゃんの里」、4月に入り18日(土)三木市兵庫15番「みき」、西脇市兵庫24番「北はりまエコミュージアム」。この日は、ローカル局と2人で新緑の播磨路へ。彼、JR3***は3アマでCWもできるのだがもっぱら観光。ツツジが満開の「みき」。彼は趣味の植木用ハサミを買っていた。西脇では、久々に3.5メガQRV。17時ころまでQRV、彼の運転で帰宅したのは暗くなってからだった。

29日(祝)神戸市北区兵庫26番「淡河(おうご)」。ここも1エリアOMのリクエスト。どんどん自宅から遠くなる。狭い上に斜面の駐車場からは早々に退散、加東市兵庫21番「とうじょう」へ向かった。新緑の



中ナビ任せ、ゆるやかな起伏が続く。中国道吉川インター出入口にあり、広い広い駐車場で、10メガを快調に飛ばしていると突然の来客。「電信ですか？よく飛びますか？」「はあ、まあまあ・・・」「私もアンテナの試験にと思って、今来たんですけど」「・・・」「一度これ使ってみませんか？」「えっ？はあ・・・」釣竿の先にコイルを巻いた全長4m以上はあろうか、かなりよくできたホイップだった。「どうですか？」「うーん、さすが長いだけよく聞こえよく飛びますね」「そうでしょう」。彼は満足そうであった。コンディションが抜群によかったのだがお世辞も言っておいた。コールを訊くとJA3***とのこと、CWでの私の交信実績はなかった。何度も道の駅に来ているが、バッティングしたのは初めてだ。日が長くなり、高速道路の近くなので結構遅くまで楽しめた。

5月9日(土) 宍粟市兵庫1番「はが」、兵庫9番「みなみ波賀」兵庫県の中西部へ。R9をひたすら西へ、養父市大屋町から「若杉峠」を越える。ものすごい峠だ。下りたところがR29、姫路から鳥取へ抜ける幹線道路。右へとれば天下の険「戸倉峠」へつく。

左折して揖保川の源流を南へ下る。途中「音水湖」というきれいな名前のダム湖がある。新緑のV字谷のど真ん中に1番があった。だれもいないかと思うほど静かな道の駅。R29も中国道から鳥取道が現在の主流らしい。緑と水色に染まるような1日だった。



9月22日(祝) 川辺郡猪名川町 兵庫22番「いながわ」。中国道丹南篠山から一般道を南下。文字通り猪名川に沿って下ると連休でいっぱいの道の駅。ガードマンの指示で駐車場へ入るのに30分かかった。

10月31日(土) 宍粟市兵庫17番「播磨いちのみや」、兵庫2番「やまざき」。先月のR29を南から北上する。だんだん自宅からは遠くなってきた。R29には合計4つもあり、それが全部宍粟市である。JCC2728も打ち飽きた。Hi



ってしまった道の駅行脚」、家庭でもブーイングも

11月7日(土) さらに兵庫県の最西部へ。みなさん、ここまで読んでいただいて、「よくまあ、懲りずに・・・」とお思いでしょう。我ながら「はま

起きかけている。今回は家内同乗にてのQRV。またまた、宍粟市兵庫4番「ちくさ」、佐用郡佐用町兵庫19番「宿場町ひらふく」。紅葉狩りとか適当な理由をつけて先日の「若杉峠」R29を南下、更に西へひと山越え千種川中流に駅はあった。秋も深まり、静かな「ちくさ」は人影もまばら。もひとつ西へ、8月10日未明大雨で大きな被害を出した佐用町へ入る。山々の木々がなぎ倒され、河川敷はまだ泥のまま、田も畑もあとかたもない。平福は因幡街道の宿場町で土蔵がたくさんある古い町並みだ。家内サービスなので、さらっと流し帰途につく。

買物好きの家内は、野菜をしこたま買って車内はいっぱい。中国道佐用から福崎JCT、播但道を北上と思いきや「あれ？夕日が右手に見える。ってことは南に向かっている」太陽の位置で方角を知るとは私は原始人か・・・結局、姫路近くまで南下してUターン。播但道では「フレッシュあさご」で近所へのお土産お買いもの。北近畿豊岡道「但馬のまほろば」では明日のパン購入。「おとうさん、このスタンプもう押してある？」「とっくに・・・」もう短い秋の日はとっぷり暮れてしまった。「帰り道にはまだ道の駅あるよ」。R9の「農匠の郷やくの」、わが町の「シルクのまち かや」。「もう買うものない」と言いながら「さっきの所の方が安かった」だって。

11月23日(祝) いよいよ兵庫道の駅も大詰め。南西部に残った2ヶ所を、今日もJR3***と珍道中に出かける。相生市兵庫25番「あいおい白



龍城」、たつの市兵庫10番「しんぐう」。絶好の好天だ。何度走ったか、北近畿豊岡道の山東入口から播但道、姫路東から山陽道。相生は造船の町、対岸にIHIの巨大クレーンが見える。白龍城は「ペーろん城」と読むらしい。香港か台湾を思わせるきらびやかな建物。駐車場は秋の産業祭か、ものすごい人出と数あるテント。イカ焼きや歌手のイベントなどごった返していた。数ある駅の中、私的には印象深い場所だった。海岸で釣りのおっちゃんに、「何がつれます？」「いやあ、駄目ですね」といながら

結構楽しそう。「ところでおたく達は何しに相生へ？」「釣りに・・・」「どこでやってるの？」「あそこ」といってモバイルホイップを指さし「空から降



ってくるものを釣ってる」「・・・？」

一路海岸通りを東へと向かう。曲がりくねった道だが、右手にきらきら輝く瀬戸内の海を眺め、遠く小豆島、近くに家島群島を見て快適に飛ばす。途中、既に新道の駅として登録はされたがまだ工事中の、兵庫 30 番「みつ」があった。南向きの高台にあり完成したらいち早く来たい。大きな揖保川の岸辺を北上「しんぐう」へ到着。こじんまりした駅だった。遅い昼食をとって、ちょこっとやって 15 時 QRT。北上して中国道山崎からいつものルートで帰途につく。秋の日はつるべ落とし、運転手交代してもらって 18 時帰着。これで今年の兵庫は終了。

2010 年

2010 年 3 月 14 日（日）いよいよあと 4 つを残すのみ 3 つは淡路島だから最終日に行くとして、「みつ」が 1 つだけでもったいない。てなわけでもたしても家内の出番となるわけだ。世界遺産姫路城が平成の大修理に入るといって見たい、と。それでは、ということで二人して出かけ、播但道香寺で家内を下ろし JR で姫路へ入れと指示。私は山陽道から相生経由で「みつ」

へ。案の定、美しい海岸線は行楽客で大渋滞。駐車場へガードマンの誘導でようやく入場。ところが、正面玄関のまん前、ガードマンのおっちゃんに「あっちの端っぽのほうあかんか？」

「勘弁してよ、今日はこんな状況なんで・・・」汗をふきふき頑

張っていたので我慢することにした。真新しい「みつ」はご覧のように、チベットのポタラ宮がエーゲ海の崖の上にあるような（行ったことないけど）たたずまい。目の前の白砂の浜は子供連れが楽しそうに遊んでいる。ちらし寿司のお昼をパラソルの下でいただいて、今日は家内にある JR3*** にテレビ電話。本当に一人でいるのはもったいないく

らいの景色だった。14 時、110 QSO にて QRT。家内を迎えに姫路城へ向かった。

5 月 22 日（土）淡路島へ。

JR3*** と一緒に朝 6 時半出発梅雨前の好天の一日、おっさん二人の珍道中もいよいよ



よ佳境に達するのだ。舞鶴道、中国道、山陽道、淡路道をノンストップで飛ばす。6 月から土・日 1000



円が無くなるとのことです。ラストチャンスだ。2 時間で明石海峡大橋を渡り、淡路 SA へ 8 時 30 分着。ちょっと休憩。今日は、南あわじ市兵庫 16 番「うずしお」、淡路市兵庫 23 番「東浦ターミナルパーク」、そして

オーラスは兵庫 14 番「あわじ」。午前 9 時 40 分「うずしお」から第一声（一信）目の前に鳴門のうず潮を眺めながらの抜群のロケーション。すぐ横は大鳴門橋、向こうに見えるは徳島県だ。高さ 50m の上をおもちゃのような車が走っている。絶景の中、ハワイの様な（行ったことはある）樹林の中をしばらく歩くと小さな道の駅。どことなく南国の香りが漂い、いかにも遠くへ来たという感じだ。しかし暑い・・・ 50 QSO で名残惜しいが次へ移動。「東浦ターミナルパーク」バスターミナルが道の駅になっていた。急ぎ 50 QSO でいよいよラストシーンへ。一般道はえらい警備が厳しい。この日は「淡路花回廊」に、皇室がお見えになっていたらしい。「あわじ」は本当に明石海峡大橋の真下にあった。臨時駐車場の矢印にそって車を入れると、大きな芝生の庭の海べりにでた。巨大つり橋を支えるワイヤーを固定するコンクリートの塊には度肝を抜かれた。QSO は快調に進む。目の前の神戸や大阪湾岸の局が強い。海のすぐそばなのだろうか？

思えばこの 3 年間、山深い地、大都会の地、海のそばの地、滴るような緑の中を、黄金に染まる田園の中を、金波銀波の渚を、日帰りで 30 ヶ所を巡ってきた。

たくさんの局から呼ばれ、全国に仲間ができた。あらためてこの趣味を貫いてきて幸せに思う。いつもサポートしてくれた JA3***、移動につき合ってくれたローカル局の JR3***、家内（一応アマチュア局）そして文句も言わずに働いてくれた愛車、トランシーバ、アンテナ、エレキー諸君、ありがとう。

巻頭へ続く・・・

『1kW QRO への道』

JA5CUX 生越重章

固定局で DXCC を本格的に楽しみたいということで、QRO を考え始めたのはもう 25 年も前に遡る。当時の私の運用スタイルは、コンパクトトランシーバ (TS120S → FT757GX → IC726) とホイップアンテナによるモバイル運用をメインとし、社宅の 2 階ベランダから敷地内の植木に伸張したワイヤアンテナとカップラを用いた運用をサブとするものであった。主な運用周波数は 7MHz, 10MHz であった。関東各地から移動運用する傍ら、自らも JCC/JCG を追いかけてきた。その結果、幸いにも WACA および WAGA を完成できた。

次の目標が DXCC であったが、上記設備で細々と DX 局を追いかけてきたが、殆ど QSO できない状況であったことから、運用周波数帯の拡大と送信電力 500W 化が必要との認識を得た。このため、クッシュクラフト R7, 八重洲 FL2100Z, MFJ250 ダミーロードなどを調達したものの、社宅での開局は難しく、そのまま実家にストックすることになった。

15 年ほど前の転職で実家の近くに帰ったことで QRO 化が現実身をおびてきた。将来のリタイアに備え、DXCC ハンティングを老後の楽しみとすることしたいと考え、1 年ほど前から 1kW 局開設を目指してきた。実家がある町の発展は著しく、農地の宅地転用が進み、kW 免許取得が年々困難となる状況が見えてきたことも理由のひとつである。

この目標を設定した段階でリニアアンプ調達にとりかかった。知人の口添えで、押入れに眠っているという TL922 を所有している方から廉価で譲渡していただいた。これと、前述の 500W 機の 2 台で申請することにした。また、エキサイタの調達も必要となった。移動局送信設備との共用ができないためである。さらに、必要となるであろう、コモンモードフィルタ (RF インクワイアリー VF-5KVX), ローパスフィルタ (ケンウッド LF30A), 電力計 (Bird 43) などを順次揃えていった。昨今の円高は輸入品調達に有利となった。

新規に購入した IC7410 により 100W で固定局を開設 (平成 23 年 10 月 4 日) し、さらに、これをベースに設備変更で 1kW 化を目指すこととした。いきなり 1kW 局を開設する場合には、登記手続が必要である (通信局の担当者から知らされた) ことと申請料が高額となるためである。送信電力および電波型式の変更申請を電波利用電子申請・届出システム Lite を使用してインターネットで行い (11 月 4 日), 総合通信局のアマチュア局担当者とは度々のやりとりの結果、無線局指定変更・変更許可通知書が交付された (12 月 19 日)。これを受けて、試験電波発射届を提出 (平成 24 年 1 月 5 日) するとともに、リニアアンプの調整とアンテナの設計に着手した。

インターネットオークションで入手したトランスオイルを MFJ250 に充填し、リニアアンプ出力を測定

したところ、TL922 は送信電力がやや少ないことが判明した。その対策として、より低い電圧のツェナーダイオードに交換した。友人の kWer やケンウッド技術サポートのアドバイスが役に立った。出力問題が解決したので、冬休みを利用して通信局に提出するアンプの事前データを取得した。このとき、自己所有しているものと友人から借用した 2 台の Bird 43 およびダイワ CN-101 での測定値を比較したところ測定器の個体差が大きいことがわかった。業者に照会したところ、前者が $\pm 10\%$ 、後者が $\pm 20\%$ の誤差とのことであった。事前データは、1.8~28MHz 帯を測定範囲とする CN-101 の測定値を採用することとした。周波数測定には、周波数カウンタ (岩通 SC-7201) と基準信号用ルビジウム発振器 NEC Rb-3100N 出力を用いた。エキサイタの送信周波数偏差は 1Hz であり、全く問題がなかった。

送信機の準備を終えて、次に、アンテナの準備にとりかかった。7~28MHz 帯は未開梱のまま物置に眠っていた R7 で対応することができものの、1.8~3.8MHz 帯は自作するしか道はなかった。当初、瓦葺納屋の地上高 6m 点に設置した屋根馬上に 3.6m の電気工事用パイプを 3 本連結した 18m 高の垂直型を設計していたが、実際に作業してみると足場が悪く困難を極めた。滑落事故防止の観点からこの方法を断念し、パイプを 1 本のみとした 10m 高の傾斜型に変更せざるを得なくなった。設計変更になったことで、66mm ϕ ペットボトルに 1mm ϕ の UEW を密巻したセンター・ローディングコイルを導入することとなった。アンテナ解析ソフト MMANA で求めたインダクタンス値のコイルを作成、LCZ メータ (NF 回路ブロック 2343) および RF アナライザ (MFJ 259B) を用いて値を確認した。これを、11m と 7.1m の 600V IV 線の間に取り付け付けた。さらに、地上 40cm でカウンタポイズ (3.5/3.8MHz での 11m に 1.9MHz 帯ではさらに 10m 延長) を張り、給電点および同軸ケーブルを経由した送信機接続点でのインピーダンスを確認し、必要に応じてコイル巻数を補正した。傾斜型アンテナのマストを保持するために、デベグラスロープで四方にステーを張った。一方、R7 の給電点は 6m

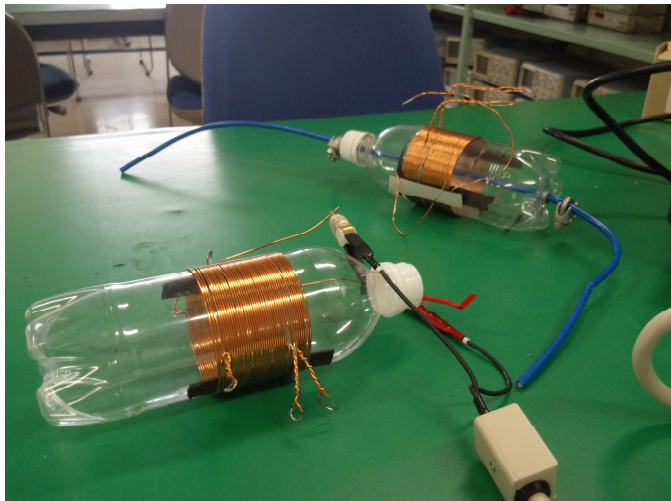


図 1. ペットボトルに巻いたローディングコイル

高にする予定であったが、3.6m 高に変更したことで、ひとりでも難なく設置できた。このアンテナであるが、固定アンテナといっても、2m 高の農作業で使用する木製脚立に、TV 用屋根馬にとりつけたマストをロープで縛りつけたお手軽アンテナであり、とても人様に見せられるようなものでない。

風圧対策としてクレモナロープを3方向に張った。アンテナ高を変更したことにより、電波妨害指針に基づく電波強度の計算値が変わるため、設計変更届を総合通信局に提出した。

電源系工事については、100V 系は、ブレーカ、ノイズフィルタ、コモンモードフィルタなどを通すため自分で行った。200V 系は、時間的制約から近所の電気屋さんに依頼した。母屋の軒下に設置した配電盤から引き出した 2mmφ VVF 線を納屋のシャックまで通路をまたいで約 10m 引っ張ることとした。（こんなやり方でも問題とはならなかった。）

いよいよ、電波妨害のチェック作業となった。アンテナ設置点から 50m 以内の全戸について調査を行うようにとの指示に基づき、事前をお願いを



図2. アンテナ外観 (R7, ペットボトル傾斜型, HB9CV)

しておいた 6 世帯に対しテレビ等の電波妨害の有無を確認してもらった(4月30日)。地デジ化されていること、CATV が導入されているため問題発生はなかった。

FM ラジオに若干のノイズが入ったという1件の連絡があったので、ただちにトロイダルコアに同軸ケーブルを3回通過させたものを2つ通すことにより解決した。調査結果票を回収し、周辺の住宅地図、検査事前データとともに総合通信局に書留郵便扱いで提出した(5月29日)。さらに、インターネットで無線設備変更工事完了届を提出した(6月18日)。この届は、電子証明書方式による電波利用電子申請・届出システム(パスワード方式による Lite は不可)または書面に限られるので注意が必要である。数年前から e-tax を利用していたためスムーズに行えた。変更検査手数料納入の通知があったのでページで 11,650 円を即日納入完了(6月22日)。7月下旬に検査日程の打診があった。こちらの仕事の都合を伝えて、先方で調整してもらい、数日後に検査実施日時

が確定した(8月1日)。

検査実施までに、変更に係る送信設備以外の送信設備(他バンドのアンテナ、既に免許されている電波型式に対応するパソコンソフトウェア、インタフェース回路、マイクなど)もすべて揃えておいた。たとえば、RTTY で運用を指示された場合にも対応できなければならないからである。また、無線業務日誌、電波法令集、無線検査簿(いずれも業務用書類としての備え付け義務はない)、時計を準備した。

検査前日(8月8日)に実家入りし、機器類の最終調整を行った。アンテナ系には、念のためアンテナチューナを挿入した。試験電波を発射して機器調整を行い、そのままの状態での検査を受けられるようにした。パワーメータ、周波数カウンタも準備しておいた。事前の試験ではとくに問題は発生しなかったが、念のため自宅の電話線、CATV 引込線に自作のフィルタを取り付けた。(結果的には自宅の調査は省略されたので、これはしなくてもよかった。)

検査当日は早めに起床し、アンテナ設置点周辺の雑草を刈り払い、設置状況がわかるようにした。約束時刻に最寄りの JR 駅で検査官2名をピックアップした。自宅に到着して短時間会話を交わした後、持参されたパワーメータと周波数カウンタを動作できる状態とした。

すべての準備が整った 14:20 頃、事務官により、電波法 18 条に基づく変更検査を開始する旨の宣言がなされ検査に入った。リニアアンプ毎にダミーロードを接続してバンドごとに送信電力と周波数を測定した。真夏のもっとも暑い時間帯でもあり、冷却オイルの過熱を気遣い扇風機で冷却し、途中何度かの休憩をはさみながらの検査となった。

単体検査を終え、アンテナに接続しての電波障害の調査に移った。事務官は当方での送信立会い、技官は隣家での障害状況の確認を担当することとして、それぞれ持ち場につかれた。事務官の指示により、7~28MHz 帯で試験電波(CW とすることの了解済)を順次発射した。この間、両者は携帯電話で連絡を取り合い、障害の有無を確認していた。試験電波発射中、事務官は送信出力を確認していた。次いで、傾斜型ワイヤアンテナを用いて 1.8~3.8MHz 帯で試験電波を発射し、障害の発生状況確認が行われた。ペットボトルのローディングコイルは、長時間のフルパワー注入に耐えられるか心配であったが、発火などのトラブルがなかったのは幸いである。障害発生については、受信可能な地デジ放送局3局のみを対象として調査された模様である。電波障害調査を終え隣家から戻った技官によれば、障害はないとのことであった。

この段階で、ほぼ検査を終了したとの話があったが、こちらから「実通試験はしなくてもよいのですか?」と切り出したところ、「では、やってください」との返事があったので、あらかじめ依頼をしておいた JA6BJV 野口さんと 7MHz CW でレポート交換をした。技官から、交信局のコールサイン、設置場所、信号強度など関連事項を尋ねられた。その後、無線

従事者免許証の提示を求められ、免許番号を確認された。写真を見て、「ずいぶん若いですね」とコメントされた。20歳代前半であり確かに若い、今と大違いである。

16:40頃に変更検査を終了し、事務官から「指示事項なしの合格」と口頭で伝達され、同時に無線局検査結果通知書と新しい免許状を交付された。その際、「電波障害が発生しないように注意して運用するように」との注意事項の伝達があった。

猛暑の中、冷房もないあばら家シャックでの検査であったため、片手に団扇を持ち、随時水分を補給しながらの実施となったが、熱中症などの事故もなく終了できてよかった。電波申請方法や管内でのQROなどの状況について暫く談話した後、JR駅までお送りして長い一日を終えた。

ローカル各局のサポートおよび友人のアドバイスにより、無事kW化のゴールに到達できた。これで、心おきなくフルパワーでDXCCに取り組むことができることとなった。関係各位に感謝する次第である。次の目標であるタワー建設を早期に実現できればと考えている。



図3： あばら家シャックの様子

(古い機を納屋に持ち込んで急遽準備。FL2100Z、フィルタ類は床に投げてある)

『雑感 2013』

JA8AJE 笠原 勝

【アワード】

一昨年ごろから各バンドのJCC/JCGを申請していました。1.9MHzから始まり50MHzのJCGを先日申請し一応の決まりをつけました。ハムログがなければ到底できなかったことです。ハムログでバンド、CFMDを選び重複を含めたリストを作る。

Excelに読み込み、VBAの簡単なプログラムで重複

の削除、JCGの場合は町村名の削除など行い最終QSLリストを作る。自分のデータから自分のためのリストを作るので、VBAのvisualの部分は使いません(使えない)。熱心にやれば1週間でHF+50MHzのリストは作れますが、本来の怠け癖で約2年かかりました。

JARLへの申請はメールで、申請料はネットバンキングで済ませましたので、申請自体は簡単でした。JARLのアワード受付に関して改善の余地があると私は感じています。多分担当の方が決まっているのでしょう、その方が何かの事情で長期に休むとその間ほっておかれます。担当が決まっていって他の職員が手を出せない、まるで公務員並みです。また担当がおられる時は一生懸命申請リストをチェックしてくださるのでしょうか、3日ほど経って、チェック済みと申請料の払い込み確認がメールできます。私は何回も担当者に言いました。“申請メールを受け取った、払い込みを確認した、などのメールはすぐ返信すべきである、その確認さえあればアワード自身は少しぐらい遅くなっても構わない。”と。アワードに限らずJARLの職員の方は良くやってくれていると思いますが、会員のアクションに対しては、申請者の心理(届いたかどうか心配)を考えれば早めの反応が必要だと思います。

【コンテストとプロパゲーション】

どなたも御存じと思いますが、10MHz以上のバンドでは、午前中のコンディションは西の4,5,6エリアと1,2エリア間が良いようです。Es発生で実際599の6エリアを呼んでも、その局が1エリアに返事をしていることが多々あります。しかし午後やや遅めの17JST前後は1,2エリアと8エリア(多分7エリアも)間が良いようで、楽しめます。問題はコンテストの時刻です。6&D、FDなどは15JST終了です。午前中のいいところは西の局に取られ、さあこれからというときはコンテストが終わっています。実際今年のFDではそのような状態でした。だからコンテスト時間を延長せよというわけではありません。単なる愚痴です。

ところで、ハイバンドが開けている時でも、夕方になると皆さん7MHzへ集中するらしく、ハイバンドのQRV局がいなくなります。得点を稼ぐためにはやむを得ないと思うと同時に、こんな良いコンディションなのにもったいないと思うことも度々です。これも単なる愚痴ですが。Hi

(完)